

介護支援ボランティアセミナー2021 開催レポート

日時：令和3年8月10日（金） 午後13:30~15:30

場所：高根農村環境改善センター

参加者：介護支援ボランティア15名（7名欠席）

講師：山梨県立大学 准教授 高木 寛之 先生

コロナ禍でボランティア活動が思うようにできていない中、「今自分にできること、これからのボランティア活動」というテーマで、山梨県立大学人間福祉学部の高木寛之先生をファシリテーターに迎え、5回目となる介護支援ボランティアセミナー2021を開催しました。

感染症蔓延防止対策のため、介護支援ボランティアへ登録している方だけの募集となりましたが、当日15名の方が参加し、2部構成で行われました。

まず、令和3年4月に実施した、介護支援ボランティアアンケートの結果を抜粋して説明をしました。結果の解説を高木先生が行い、第2部ではその結果を踏まえて、①コロナに対する不満を語ってみる②今だからこそ自分にできるボランティアとは、ということについてグループディスカッションを行いました。

グループディスカッションの中で様々な話がされる中で、コロナ禍であるからこそ今歩みを止めないことが大切であること、介護・福祉だけではなく、文化・教育など活動の幅を広げられると良いこと、ボランティアには色々な種類・形があり、「自分の生き方」であること、といったキーワードが出ました。

参加者の9割以上の方が、セミナーに大変満足、または満足と回答し、参加者全員が今後のボランティア活動の参考になったと回答してくれました。また、参加者からは「元気がもらえた」、「前向きに考える機会になった」との声も聴かれ、久々の仲間同士での話し合いだったこともあり、「語り足りない」、「もう少し話したい」という声も聴かれました。

今回のセミナーででてきたキーワードである、「歩みを止めない」、ボランティアは「自分の生き方」という事に対しても、大切さを感じている方も多くいました。

コロナ禍で、規模を縮小しての開催となりましたが、改めてボランティア活動について考えるきっかけにもなったようです。

